

ポット苗作りと補植について、二つの学校で行われた講習会の様子を紹介します。

ポット苗の補植

清瀬市立清明小学校

児童数：411名（平成29年5月1日現在）
芝生化面積：3,832m²
芝生が完成した時期：平成27年度

傷みの激しい部分をポット苗の補植で再生



見事な全面芝生の校庭も、サッカーゴールの前や朝礼台の近くなど、一部で芝生のはがれた跡がありました。



補植する場所には、苗を植えやすいようにあらかじめ溝を掘ります。



ポット苗の補植は昨年度に続いて2回目。子供たちもそれぞれ役割分担し取り組んでいました。



サッカーゴールの前は、先生や子供、保護者の方を交えて特に念入りに補植します。



体育館を使うバレーチームやサッカーチームの方がボランティアで参加してくれました。



インタビュー：
清水 一校 校長先生

のびのびと遊ぶ子供たちのために

2年前に芝生化して以降、側転やでんぐり返しをする子が増えてきて、子供たちが伸び伸び遊ぶことができるようになりました。大きな擦り傷があった等も聞かなくなりましたね。当初芝生化に当たり、様々な議論はありましたが思い切って全面芝生化にしたおかげで、今では雨や霜の後の使い勝手はもちろん、砂ぼこりもなくなってとても評判が良いです。それに、夏場の緑はとてもきれいですね。本校は周囲を緑に囲まれています、更に校庭の芝生の緑が加わることで、目に優しい癒される空間が出来上がったように思います。ポット苗の補植は昨年度に続いて2回目ですが、昨年は運動会の時期にはきれいな芝生になっていたの、今年も期待しています。全面芝生なので維持管理は大変ですが、職員、保護者のボランティア、子供たちと上手く役割分担しながら、無理なく長く続けられる方法でこれからもきれいな芝生を保っていければと思います。